

# 2014年3月期（2013年度） 主要建設会社決算分析

2014年6月11日



**RICE**

一般財団法人 **建設経済研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33NP御成門ビル8F

Tel: 03-3433-5011 Fax: 03-3433-5239

URL: [http:// www.rice.or.jp](http://www.rice.or.jp)

## ◆目次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ① 受注高
  - ② 売上高
  - ③ 売上総利益
  - ④ 販売費及び一般管理費
  - ⑤ 営業利益
  - ⑥ 経常利益
  - ⑦ 特別利益・特別損失
  - ⑧ 当期純利益
  - ⑨ 有利子負債
  - ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ
  - ⑪ キャッシュフロー
5. 参考資料

## ◆1. 調査の目的

一般財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別に経年比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信等から判明する2014年3月期の財務指標の分析を提示するものです。なお、一部の分析対象会社については2013年12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。次第です。

(お問合せ先) 一般財団法人 建設経済研究所  
専務理事 長谷川 啓一  
研究員 中西 慎之介  
菅原 克典

電話：03-3433-5011 FAX：03-3433-5239

## ◆2. 分析対象会社

### (1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設会社を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の40社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること。
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと。
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと。

### (2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つの階層に分類した。

2013年度

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組、竹中工務店	5社
準大手	2,000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、安藤ハザマ、五洋建設、前田建設工業、三井住友建設、西松建設、熊谷組、東急建設	9社
中堅	2,000億円以下	奥村組、東亜建設工業、浅沼組、鉄建建設、銭高組、東洋建設、ナカノフード建設、飛鳥建設、大豊建設、福田組、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、東鉄工業、松井建設、名工建設、大本組、矢作建設工業、大和小田急建設、新日本建設、若築建設、北野建設、不動テトラ、大末建設、第一建設工業、南海辰村建設、徳倉建設	26社

※一部の分析項目については、開示していない企業もあるため、対象企業が40社に満たないものがある。

※受注高は原則として単体で集計しているが、東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラ、南海辰村建設（いずれも中堅）は連結数値にて集計した（単体は非公表）。

※ピーエス三菱の11年度以降は連結数値、大和小田急建設の09年度は連結数値。

### **◆3. 報告要旨**

- 受注高は、緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）に伴う公共工事の増加、景況感の改善に伴う民間建築工事の増加などを背景に受注環境は大きく好転し、全 40 社中 36 社が前年度実績を上回り、全階層で大幅な増加となった。
- 売上高は、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことにより、全階層で増加した。
- 営業利益は、売上総利益の大幅な増加により全階層で増加し、全 40 社が営業黒字を確保した。円安・株高が進行した影響により、為替差損益の改善、及び有価証券売却損益の改善もあり、当期純利益は全階層で増加した。
- 建設市場は 2014 年度も引き続き堅調に推移することが見込まれるが、各階層の繰越工事高の合計は前年同期比で約 1 割増加していることなどから、2014 年度も引き続き採算重視の姿勢は変わらず、選別受注を徹底し受注高を保守的に見る企業が多く見られた。
- 2014 年度の業績目標達成に向けて、資機材価格の上昇や労務需給逼迫による労務費の高騰、技能労働者・技術者不足による施工体制・品質の確保をリスク要因として挙げる声が多く聞かれ、採算改善に向けた今後の動向には引き続き注視が必要である。

## ◆4. 主要分析結果

### ① 受注高（単体）

#### 【 受注高合計 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)	
09年度	4,909,407		2,418,129		1,979,559		9,307,095	
10年度	4,786,643	▲ 2.5%	2,413,356	▲ 0.2%	1,893,727	▲ 4.3%	9,093,726	▲ 2.3%
11年度	5,165,845	7.9%	2,543,709	5.4%	1,897,604	0.2%	9,607,158	5.6%
12年度	5,194,179	0.5%	2,534,106	▲ 0.4%	2,119,947	11.7%	9,848,232	2.5%
13年度	6,136,098	18.1%	3,115,806	23.0%	2,482,753	17.1%	11,734,657	19.2%

今年度予想(大手) 単位:百万円

	受注予想額	増加率
14年度予想	5,270,000	▲ 14.1%

- 受注高は、建築、土木共に大きく伸び、総計で前年同期比 19.2%増の 11.7 兆円となり、2008 年度のリーマンショック前の 11.2 兆円を上回り大幅な増加となった。
- 前年同期比で増加したのは、「大手」は全 5 社、「準大手」は 9 社中 8 社、「中堅」は 26 社中 24 社であり、ほぼ全ての企業で増加した。
- 「大手」の 2014 年度の受注高予想は、採算性を重視した案件の選別と、技術者数に応じた適正な施工量や品質の確保を重視する姿勢を示す企業が多く、前年同期比▲14.1%となった。

#### 【 建築 】

受注高／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)	
09年度	3,939,582		1,636,427		1,089,524		6,665,533	
10年度	3,773,057	▲ 4.2%	1,795,740	9.7%	1,119,926	2.8%	6,688,723	0.3%
11年度	3,936,751	4.3%	1,743,914	▲ 2.9%	1,041,823	▲ 7.0%	6,722,488	0.5%
12年度	4,044,735	2.7%	1,755,485	0.7%	1,153,451	10.7%	6,953,671	3.4%
13年度	4,590,783	13.5%	2,024,918	15.3%	1,344,672	16.6%	7,960,373	14.5%

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラ（中堅）を除いて集計。

- 建築部門の受注高は、景況感の改善に伴う民間建築工事の増加や消費増税前の駆け込み需要などを背景に全階層で前年同期比二桁の増加となった。
- 全 39 社中 34 社が前年同期比で増加し、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は 9 社中 6 社、「中堅」は 25 社中 16 社で二桁の増加となった。

## 【 土 木 】

受注高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度	873,495		770,311		853,763		2,497,569	
10年度	801,151	▲ 8.3%	596,673	▲ 22.5%	737,759	▲ 13.6%	2,135,583	▲ 14.5%
11年度	1,062,003	32.6%	765,054	28.2%	823,146	11.6%	2,650,203	24.1%
12年度	950,123	▲ 10.5%	744,014	▲ 2.8%	927,377	12.7%	2,621,514	▲ 1.1%
13年度	1,305,818	37.4%	1,049,128	41.0%	1,091,207	17.7%	3,446,153	31.5%

■土木部門の受注高は、緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）の本格実施に伴う公共工事の増加を背景に、総計で前年同期比 31.5%増となった。「中堅」が 3 期連続で増加したのに加え、「大手」「準大手」も増加に転じ、全階層で大幅な増加となった。

■「大手」は全 5 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は 26 社中 19 社が前年同期比で増加した。一方、「中堅」で減少した 7 社中 3 社は二桁の減少となったが、この中には受注が好調であった前年度の反動減も見られた。

## ② 売上高（連結）

売上高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度	7,185,986		3,136,943		2,628,979		12,951,908	
10年度	6,034,914	▲ 16.0%	2,886,119	▲ 8.0%	2,359,381	▲ 10.3%	11,280,414	▲ 12.9%
11年度	6,339,835	5.1%	3,045,983	5.5%	2,239,652	▲ 5.1%	11,625,470	3.1%
12年度	6,764,244	6.7%	3,240,499	6.4%	2,335,121	4.3%	12,339,864	6.1%
13年度	7,185,954	6.2%	3,436,954	6.1%	2,621,253	12.3%	13,244,161	7.3%
14年度予想	7,500,000	4.4%	3,462,300	0.7%	2,593,000	-1.1%	13,555,300	2.3%

■売上高は、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことにより全階層とも堅調に増加し、総計で前年同期比 7.3%増となった。

■前年同期比で増加したのは、「大手」は全 5 社、「準大手」は 9 社中 6 社、「中堅」は 26 社中 23 社であり、ほぼ全ての企業が増加した。

■2014 年度の予想については、「大手」は増加を予想しているが、「準大手」「中堅」は概ね横ばいを予想しており、総計では前期と同水準となることが予想されている。

■2014 年度の売上高予想を達成する上で、資機材・技能労働者の供給不足等を懸念材料に挙げる声も聞かれた。

### ③ 売上総利益（連結）

売上総利益／前年同期比(増加率)／売上総利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
09年度	395,261	(増加率)	230,284	(増加率)	218,806	(増加率)	844,351	(増加率)
		5.5%		7.3%		8.3%		6.5%
10年度	498,326	▲ 26.1%	228,562	▲ 0.7%	199,106	▲ 9.0%	925,994	▲ 9.7%
		8.3%		7.9%		8.4%		8.2%
11年度	505,450	▲ 1.4%	201,587	▲ 11.8%	164,534	▲ 17.4%	871,571	▲ 5.9%
		8.0%		6.6%		7.3%		7.5%
12年度	473,945	▲ 6.2%	147,036	▲ 27.1%	162,971	▲ 0.9%	783,952	▲ 10.1%
		7.0%		4.5%		7.0%		6.4%
13年度	518,731	▲ 9.4%	241,929	▲ 64.5%	210,221	▲ 29.0%	970,881	▲ 23.8%
		7.2%		7.0%		8.0%		7.3%

- 売上総利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計で利益額は前年同期比23.8%増と大幅に増加し、利益率は同0.9%ポイント上昇した。
- 全階層で利益額が増加し、「大手」は9.4%増、「準大手」は64.5%増、「中堅」は29.0%増と大幅な増加となった。利益率も全階層で改善し、前年同期比で「大手」は0.2%ポイント、「準大手」は2.5%ポイント、「中堅」は1.0%ポイント上昇した。
- 利益額について、「大手」は5社中4社、「準大手」は全9社、「中堅」は26社中25社が増益となった。
- 利益率について、「大手」は5社中4社、「準大手」は9社中8社、「中堅」は26社中21社が上昇した。
- 量にこだわらず質を重視した選別受注による不採算工事の徹底排除等により売上総利益は全体的に改善傾向にある。一方で資機材費・労務費の上昇が懸念されることから、今後の動向には引き続き注視が必要である。

#### ④ 販売費及び一般管理費（連結）

販管費／前年同期比(増加率)／販管費率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計					
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率				
09年度	392,013	(増加率)	5.5%	177,077	(増加率)	5.6%	158,768	(増加率)	6.0%	727,858	(増加率)	5.6%
10年度	379,525	▲ 3.2%	6.3%	162,992	▲ 8.0%	5.6%	151,212	▲ 4.8%	6.4%	693,729	▲ 4.7%	6.1%
11年度	379,645	0.0%	6.0%	153,751	▲ 5.7%	5.0%	142,400	▲ 5.8%	6.4%	675,796	▲ 2.6%	5.8%
12年度	372,983	▲ 1.8%	5.5%	156,011	1.5%	4.8%	136,761	▲ 4.0%	5.9%	665,755	▲ 1.5%	5.4%
13年度	372,379	▲ 0.2%	5.2%	156,559	0.4%	4.6%	138,097	1.0%	5.3%	667,035	0.2%	5.0%

■販管費は、「大手」では減少したものの、「準大手」「中堅」で若干増加したことにより、総計は前年同期比 0.2%と微増となった。

■販管費率は、売上高の大幅な増加もあり、全階層で低下し、総計は前年同期比 0.4%ポイント低下した。

#### ⑤ 営業利益（連結）

営業利益／前年同期比(増加率)／営業利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計					
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率				
09年度	3,247	(増加率)	0.0%	53,203	(増加率)	1.7%	60,031	(増加率)	2.3%	116,481	(増加率)	0.9%
10年度	118,799	3,558.7%	2.0%	65,567	23.2%	2.3%	47,887	▲ 20.2%	2.0%	232,253	99.4%	2.1%
11年度	125,801	5.9%	2.0%	47,834	▲ 27.0%	1.6%	22,128	▲ 53.8%	1.0%	195,763	▲ 15.7%	1.7%
12年度	100,960	▲ 19.7%	1.5%	▲ 8,979	赤字転落	▲ 0.3%	26,205	18.4%	1.1%	118,186	▲ 39.6%	1.0%
13年度	146,350	45.0%	2.0%	85,365	黒字転換	2.5%	72,113	175.2%	2.8%	303,828	157.1%	2.3%
14年度予想	168,000	14.8%	2.2%	90,400	5.9%	2.6%	69,780	▲ 3.2%	2.7%	328,180	8.0%	2.4%

■営業利益は利益額・利益率ともに全階層で増加・上昇し、総計では利益額は前年同期比約 2.6 倍となり、利益率は同 1.3%ポイント上昇した。

■全 40 社が営業黒字を確保した。営業利益が増加したのは、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は 26 社中 25 社であり、ほぼ全ての企業が利益を増加させた。

■2014 年度予想では、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は 9 社中 6 社、「中堅」は 26 社中 14 社が営業増益を見込んでおり、総計では 8.0%増となる見込みである。



## ⑥ 経常利益（連結）

経常利益／前年同期比(増加率)／経常利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
09年度	13,171 (増加率)	0.2%	43,665 (増加率)	1.4%	56,178 (増加率)	2.1%	113,014 (増加率)	0.9%
10年度	105,199 698.7%	1.7%	54,718 25.3%	1.9%	45,284 ▲ 19.4%	1.9%	205,201 81.6%	1.8%
11年度	133,947 27.3%	2.1%	42,482 ▲ 22.4%	1.4%	20,916 ▲ 53.8%	0.9%	197,345 ▲ 3.8%	1.7%
12年度	134,311 0.3%	2.0%	▲ 7,193 赤字転落	▲ 0.2%	28,240 35.0%	1.2%	155,358 ▲ 21.3%	1.3%
13年度	174,881 30.2%	2.4%	88,133 黒字転換	2.6%	71,960 154.8%	2.7%	334,974 115.6%	2.5%
14年度予想	168,500 ▲ 3.6%	2.2%	86,200 ▲ 2.2%	2.5%	66,150 ▲ 8.1%	2.6%	320,850 ▲ 4.2%	2.4%

■総計では、経常利益は前年同期比約2倍となり、利益率は同1.2%ポイント上昇した。

■「大手」は5期連続で増加、「準大手」は黒字転換、「中堅」は2期連続の増加となり、各階層において過去5年間で最高の水準となった。

## ⑦ 特別利益・特別損失の内訳（連結）

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	12年度	13年度	12年度	13年度	12年度	13年度	12年度	13年度
<b>特別利益</b>	<b>41,932</b>	<b>38,768</b>	<b>4,971</b>	<b>26,747</b>	<b>5,828</b>	<b>9,987</b>	<b>52,731</b>	<b>75,502</b>
投資有価証券売却益	14,830	32,769	2,606	4,563	1,052	5,245	18,488	42,577
固定資産売却益	26,375	3,848	1,438	10,009	3,735	2,104	31,548	15,961
負ののれん益	0	0	0	10,222	671	1,235	671	11,457
<b>特別損失</b>	<b>30,964</b>	<b>42,274</b>	<b>21,394</b>	<b>11,463</b>	<b>8,631</b>	<b>5,442</b>	<b>60,989</b>	<b>59,179</b>
投資有価証券評価損	6,617	9,679	2,640	479	1,215	195	10,472	10,353
固定資産除却損	1,754	720	254	651	605	646	2,613	2,017
減損損失	7,142	11,878	2,256	6,094	2,513	1,901	11,911	19,873

■特別損益は、全階層で投資有価証券売却益が増加したことなどにより、総計では前年同期比で改善している。

■「準大手」の1社は、合併に伴い約106億円の「負ののれん益」を計上している。

※上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、企業によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

## ⑧ 当期純利益（連結）

当期純利益／前年同期比(増加率)／当期純利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
09年度	▲ 13,912 (増加率)	▲ 0.2%	▲ 21,187 (増加率)	▲ 0.7%	18,483 (増加率)	0.6%	▲ 16,616 (増加率)	▲ 0.1%
10年度	68,351 黒字転換	1.1%	18,664 黒字転換	0.6%	15,247 ▲ 17.5%	0.6%	102,262 黒字転換	0.8%
11年度	13,859 ▲ 79.7%	0.2%	6,258 ▲ 66.5%	0.2%	1,890 ▲ 87.6%	0.1%	22,007 ▲ 78.5%	0.2%
12年度	68,697 395.7%	1.0%	▲ 50,945 赤字転落	▲ 1.6%	10,592 460.4%	0.5%	28,344 28.8%	0.2%
13年度	95,817 39.5%	1.3%	81,270 黒字転換	2.4%	53,967 409.5%	2.3%	231,054 715.2%	1.9%
14年度予想	99,000 3.3%	1.3%	56,700 ▲ 30.2%	1.6%	43,000 ▲ 20.3%	1.7%	198,700 ▲ 14.0%	1.5%

■ 経常利益・特別損益の改善により、総計では当期純利益は前年同期比約 8 倍となり、2 期連続で増加した。利益率は同 1.7%ポイント上昇した。

■ 「大手」「中堅」は 2 期連続の増加、「準大手」は黒字転換となった。

■ 当期純利益が増加したのは、「大手」は 5 社中 4 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は全 26 社とほぼ全ての企業が利益を増加させ、全 40 社が最終黒字を確保した。

## ⑨ 有利子負債（連結）

有利子負債／前年同期比(増加率) 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)
09年度	2,114,185		705,411		502,867		3,322,463	
10年度	1,904,126	▲ 9.9%	633,349	▲ 10.2%	429,606	▲ 14.6%	2,967,081	▲ 10.7%
11年度	1,792,269	▲ 5.9%	595,198	▲ 6.0%	396,347	▲ 7.7%	2,783,814	▲ 6.2%
12年度	1,679,429	▲ 6.3%	548,103	▲ 7.9%	378,056	▲ 4.6%	2,605,588	▲ 6.4%
13年度	1,608,598	▲ 4.2%	470,882	▲ 14.1%	349,574	▲ 7.5%	2,429,054	▲ 6.8%

■ 有利子負債は、総計で前年同期比▲6.8%となった。減少したのは、「大手」は 5 社中 3 社、「準大手」は 9 社中 4 社、「中堅」は 26 社中 15 社であった。

■ 長期的に有利子負債は減少傾向が続いている。

## ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
09年度	20.2%	増加(P)	25.0%	増加(P)	29.0%	増加(P)	22.9%	増加(P)
10年度	21.5%	1.3	26.2%	1.3	31.8%	2.7	24.5%	1.6
11年度	21.1%	▲ 0.4	25.4%	▲ 0.8	32.3%	0.6	24.1%	▲ 0.4
12年度	23.9%	2.8	24.7%	▲ 0.7	33.0%	0.6	25.7%	1.6
13年度	25.1%	1.2	25.4%	0.8	33.8%	0.8	26.7%	1.0

デットエクイティレシオ／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
09年度	1.38	増加(P)	0.98	増加(P)	0.74	増加(P)	1.14	増加(P)
10年度	1.28	▲ 0.11	0.89	▲ 0.09	0.61	▲ 0.13	1.02	▲ 0.11
11年度	1.20	▲ 0.08	0.83	▲ 0.05	0.56	▲ 0.05	0.95	▲ 0.07
12年度	0.96	▲ 0.24	0.78	▲ 0.05	0.51	▲ 0.05	0.82	▲ 0.14
13年度	0.82	▲ 0.14	0.63	▲ 0.15	0.44	▲ 0.07	0.69	▲ 0.12

※有利子負債/自己資本で算出

■自己資本比率は、自己資本の増加により、全階層で比率が上昇している。

■デットエクイティレシオは、自己資本の増加に加えて有利子負債の減少により、総計で0.12ポイント低下し、全階層で財務体質の改善が進んでいる。

※自己資本比率は、自己資本÷総資産で算出。デットエクイティレシオは、有利子負債÷自己資本で算出。

## ⑪ キャッシュフロー（連結）

営業CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
09年度	85,748	117,830	169,343	372,921
10年度	373,646	126,360	88,682	588,688
11年度	319,035	55,463	77,407	451,905
12年度	198,791	113,164	42,567	354,522
13年度	226,132	59,419	34,369	319,920

投資CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
09年度	▲ 23,854	14,093	▲ 20,262	▲ 30,023
10年度	▲ 63,398	▲ 14,576	20,678	▲ 57,296
11年度	▲ 84,386	▲ 14,974	▲ 25,680	▲ 125,040
12年度	▲ 36,158	▲ 11,621	▲ 11,664	▲ 59,443
13年度	▲ 41,237	29,897	13,903	2,563

財務CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
09年度	▲ 95,964	▲ 96,168	▲ 97,834	▲ 289,966
10年度	▲ 222,581	▲ 78,916	▲ 83,462	▲ 384,959
11年度	▲ 176,726	▲ 51,730	▲ 43,887	▲ 272,343
12年度	▲ 153,993	▲ 62,304	▲ 28,432	▲ 244,729
13年度	▲ 78,696	▲ 61,485	▲ 38,074	▲ 178,255

- 営業 CF はプラスを維持しているが、その額は全体として減少傾向を示しており、工事量の増加に伴い、徐々に運転資金需要が増加し始めていることが窺える。一方、財務 CF はマイナスを維持しているものの、減少傾向にある。

## ◆5. 参考資料

### ●受注高(合計)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	1	4	5
準大手	0	1	2	6	9
中堅	0	2	4	20	26
総計	0	3	7	30	40

### ●受注高(建築)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	1	4	5
準大手	1	2	0	6	9
中堅	0	2	7	16	25
総計	1	4	8	26	39

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラ（中堅）を除いて集計。

### ●受注高(土木)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	1	4	5
準大手	0	0	2	7	9
中堅	5	2	3	16	26
総計	5	2	6	27	40

### ●売上高増加率(連結) (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	4	1	5
準大手	0	3	3	3	9
中堅	0	3	5	18	26
総計	0	6	12	22	40

### ●売上総利益/利益率増加率(連結) (単位:社)

	利益減少		利益増加		合計
	利益率低下	利益率上昇	利益率低下	利益率上昇	
大手	1	0	0	4	5
準大手	0	0	1	8	9
中堅	1	0	4	21	26
総計	2	0	5	33	40

●営業利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	0	9	9
中堅	1	25	26
総計	2	38	40

●経常利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	0	9	9
中堅	1	25	26
総計	2	38	40

●当期純利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	0	9	9
中堅	0	26	26
総計	1	39	40

●有利子負債(連結)／前年同期比(増加率) (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	3	0	2	5
準大手	0	4	0	5	9
中堅	5	15	0	6	26
総計	5	22	0	13	40